

令和4年7月定例教育委員会会議録

令和4年7月5日 定例熊谷市教育委員会を熊谷市立商工会館3-3会議室に招集する。

○ 出席者

野原 晃、加藤 道子、松島 佳代子、齋藤 洪太、大石 聡一

○ 出席事務局

教育次長	権田 宣行
教育総務課長	長谷川 和博
学校教育課長	爪川 由美子
社会教育課長	野村 和弘
社会教育課文化財保護・ 市史編さん担当副参事	吉野 健
教育総務課副課長	浅見 弘江
教育総務課主査	吉場 美和

13時25分 7月定例教育委員会開会

教育長から、令和4年7月定例熊谷市教育委員会の開会の宣言があった。

教育長から、傍聴希望者がいないことの確認があった。

6月定例教育委員会の会議録については、出席委員全員の承認を得た。

教育長が、本日の会議録の署名人に、加藤委員を指名した。

教育長から、議案第22号の「令和4年度熊谷市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書（案）について」は9月市議会での報告前であるため、市議会への報告後、本日の会議録を公開することとしたい旨の発議があり、承認を得た。

教育長から、議案第23号の追加提出があることが報告され、本議案は人事案件となるため、非公開としたい旨の発議があり、出席委員全員が賛成し、非公開とすることに決定した。

日程第1（報告第7-1号）寄附申出について

教育総務課長から、ふるさと納税「熊谷教育の推進のため」として、5月11日から6月10日までの間に、2件、計26,000円と、熊谷図書館所管分として、森村誠一氏の自筆原稿「神の怒色」を、寄附申出いただいたとの報告があった。

日程第1（報告第7-2号）7月教育委員会行事予定について

教育総務課長から、7月11日に埼玉県市町村教育委員会教育委員研究協議会、

7月27日に大里地区教育員会連合会視察研修会が、開催予定との報告があった。

また、今後の予定として、8月2日に8月定例教育委員会及び総合教育会議を開催するとの報告があった。

日程第2（議案第20号）市文化財の指定について

社会教育課文化財保護・市史編さん担当副参事から、本議案は、令和3年5月定例教育委員会において、文化財指定に向けた調査について諮問した4件のうち、1件について、令和4年度第1回熊谷市文化財保護審議会で審議され、文化財指定が適当として答申が出されたものであるとの説明があった。

集福寺は、今から約730年から720年前の鎌倉時代・永仁年間の創建と伝えられ、多くの末寺を擁する本寺として、幡羅郡下有数の名刹とされている。かつては53,000坪ほどあったと伝えられる広大な敷地に、現在に至るまで、七堂伽藍形式を残し、現在の建物群は、主に江戸時代後期に建立されたもので、本堂である法堂を中心にして、前に佛殿、左に祖堂及び禅堂、右に大庫裡があり、これらを回廊が結んでいる。また、伽藍内の南西には鐘楼、伽藍の外には、法堂と佛殿を結ぶ軸線上手前に、山門が配置されている。

これら建物群は、伽藍形式が維持されているとともに、高度な技術による建築、そして、法堂及び佛殿の建築様式は、江戸時代後期の社寺建築の変遷を知る上で貴重なもので、また寺院の歴史とともに豊かな自然景観も優れていることから、後世に伝えるべき文化財として、高く評価されるとの説明があった。

（議案は原案どおり可決）

日程第2（議案第21号）熊谷市文化財補助金交付基準要綱の一部を改正する告示

社会教育課文化財保護・市史編さん担当副参事から、本要綱の一部改正について主な内容の説明があった。

まず、「第2条 修理又は保存に係る補助金の額」では、補助対象に市指定記念物を追加すること、登録文化財まで網羅し、修理等の支援が指定文化財と同様に受けられるようにすること、国等の補助事業が受けられない場合であっても、補助金を交付することができる旨を追加すること、の3点について説明があった。

また、「第3条 管理に係る補助金の額」では、修理又は保存と同様に、補助金交付額の限度額を、総経費のおおむね1/2とし、国等の補助事業が受けられない場合であっても、補助金を交付することができる旨を追加するとの説明があった。

（議案は原案どおり可決）

日程第2（議案第22号）令和4年度熊谷市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書（案）について

教育総務課長から、本報告書は、平成30年度から5か年にわたり、教育委員会各所管の各年度の取組について、点検・評価を行うもので、今回で4回目の報告書となり、令和3年度事業を対象にしたものであるとの説明があった。

点検・評価の実施方法については、個々の取組の進捗状況を可能な限り数値化し、実績値に基づき、A、B、Cの3ランクで自己評価を行うが、客観性を確保する観点から、有識者3名からそれぞれ意見をいただき、報告書へ掲載をする。

令和3年度は、全39の取組について点検・評価を実施し、A評価が33個、B評価が6個、C評価が0と、昨年度と比較し、A評価が3個の増で、総括すると令和2年度B評価だった取組が令和3年度A評価に転じたことによるものであるとの説明があった。

具体的には、「食育の充実」の取組で、子供たちがほぼ毎日朝食を食べる割合の目標値100%に対し、達成率が数年97%のまま横ばいで、「可能な限りの対策がおおむね取られ、高い達成率を維持しておりA評価でよいのではないか。」との有識者から意見をいただきA評価としたものである。

2つ目は、「教育情報機器の整備」で、令和2年度末に導入実施した小中学校GIGAスクール構想事業が、令和3年度から本格実施となり、順調に効果的な活用が図られていることから、A評価としたこと等の説明があった。

令和3年度も令和2年度に引き続き、年間を通じて、コロナ禍の影響を受けた1年であったが、そのなかでも、各課所館が各取組において創意工夫を凝らしながら、令和2年度と比較し、より充実した取組を実践することができたとして、自己評価を行ったとの説明があった。

本日配布の報告書案は、一度各委員による自宅審査とし、意見等ある場合は7月15日までに報告の上、その意見を踏まえた報告書修正案を、8月定例教育委員会に改めて提出し、承認について諮るとの説明があった。

(質疑等)

大石委員から、「教育経費への経済的支援」がB評価の理由について質問があり、教育総務課長から、育英資金貸付事業及び入学準備金貸付事業について、滞納整理が進んでいないためとの説明があった。

(議案は8月定例教育委員会への継続審議)

日程第2（議案第23号）

(非公開)

(議案は原案どおり可決)

(その他) 後援等承認決定した事業一覧について

教育総務課長から、5月16日から6月15日までに後援等承認決定した事業が

13件あったとの報告があった。

(その他) 6月市議会定例会における教育委員会関連の議案等の承認について

教育総務課長から、令和4年6月市議会定例会における、教育委員会関連の一般会計補正予算案については、全て承認がされたとの報告があった。

ほかに報告はなく、教育長の宣言により、令和4年7月定例熊谷市教育委員会を閉会した。

(14時05分 閉会)

署名 教育長 野原 晃 _____

委員 加藤 道子 _____